

対 象 学 年			
小学校			中学校
低学年	中学年	高学年	全学年

## 木の葉のTシャツ



### プログラムの概要

この活動は、自然の中から葉っぱを集めてそれに絵の具をつけ、無地のTシャツにペッタンコと型を押して木の葉模様のオリジナルTシャツを作るものです。

自然の中にはたくさんの種類の樹木や草花があります。植物の種類によって葉の大きさや形は様々です。その中から自分のお気に入りの葉を選ぶ中で、自然の細かいところまで目を向ける感性が培われます。

世界に一つしかない自分だけのTシャツを創りましょう。

所要時間：2時間～3時間

# 木の葉のTシャツ

## 1 活動のねらい

- ・自然の中には様々な形の葉があることに気づく。
- ・素材をいかし、葉の持っている様々な形や模様を写し取ることをとおして、自然の中から得られる温もりや自然物の良さを体感する。
- ・友達の作品を鑑賞し、互いの作品の良さを認めあう。

## 2 活動のフィールド

- ・自然の家周辺、クラフトルーム、学習室
- ・80人程度（筆や筆洗バケツ等を持ち込むのであれば大人数でも可）

## 3 準備品

団体・個人で用意するもの：無地のTシャツ、アクリル絵の具、エプロン、古新聞、パレット（段ボールや牛乳パックで代用可）  
自然の家で用意するもの：筆、水入れ

## 4 活動の手順

(1) 事前学習（自然の家に来る前の学習）  
・特になし

(2) 少年自然の家での活動

### ①自然の家周辺の森で材料探しをします。

- ・様々な形の植物の葉を観察しながら、自分の気に入った葉っぱを探します。  
※採集する葉の数は必要最小限にするように確認しましょう。

②机に絵の具がつかないように新聞紙を敷きます。  
その上にTシャツを広げ、絵の具が裏写りしないように、シャツの中に古新聞を入れます。

③とってきた葉っぱをTシャツの上に並べ、  
デザインを考えます。



- ④ パレットにアクリル絵の具を出し、筆に絵の具をつけます。



- ⑤ 葉に絵の具を塗ります。葉の裏面に絵の具をつけた方が、葉脈がきれいに写ります。



- ⑥ 絵の具をつけた面を下にして、Tシャツの上に置きます。



- ⑦ 色を付けた葉の上にあて紙をして、その上からこすります。



- ⑧ 十分にこすったら、ゆっくりと葉をはがします。



- ⑨ 色を変える時は、筆をきれいに洗って次の葉に移りましょう。

※筆を洗った後は、水気をよく切ります。





⑩ 全ての葉をやり終えたらできあがりです。できあがったら、ハンガーに掛けてしばらく乾かします。



⑪ 乾いたら着てみましょう。自分だけのオリジナルTシャツ。きっと着心地もいいはずです。



**ふりかえりの活動**（次のような言葉掛けをして活動をふりかえると良いでしょう）

- ・工夫したところや、特に頑張ったところを言ってください。（ふりかえり用紙があれば書く）
- ・友達の作品を鑑賞して、よいと思ったところを教えてあげましょう。
- ・自然の中から葉っぱを見つけ、Tシャツを作ってみて、どんなことに気づきましたか。

（3）事後学習（学校に帰ってから学習する内容）

- ・特になし

## 5 活動上の留意点

- （1）アクリル絵の具は服などに付いて乾くと洗濯をしても落ちないので、エプロンを着て活動しましょう。
- （2）アクリル絵の具を使う場合は水をつけすぎないように注意しましょう。筆を洗った後に、筆先の水分をぞうきんで拭き取る程度でよいです。
- （3）Tシャツの代わりにランチョンマットやバッグ、エプロン等を使っても良いでしょう。
- （4）類似のプログラムとして「木の葉のスタンプ」があります。これは、木の葉にスタンプ台でインクを付け、はがきにペッタンコと押しつけて絵はがきを作るものです。家族や友人に郵便で出しましょう。
- （5）葉っぱを採集する際には、ヤマウルシに触らないよう、事前にヤマウルシそのものを示して十分に注意をさせましょう。

### ねらい別活動プログラム集「木の葉のTシャツ」

発行日：平成18年2月28日

発行：独立行政法人国立少年自然の家 国立妙高少年自然の家

所在地：〒949-2235 新潟県妙高市大字関山6323-2

編集：濁川明男（上越教育大学教授）

執筆：阿部一之（国立妙高少年自然の家専門職員）